

平成 29 年度「都市計画業務の発注方式に関する事例調査」の結果報告

本資料は都市計画コンサルタント協会の技術委員会「都市計画業務のあり方検討部会」が平成 29 年 10 月～平成 30 年 1 月に実施した「都市計画業務の発注方式に関する事例調査」で収集したデータの集計・分析結果について報告するものである。

平成 30 年 5 月

都市計画コンサルタント協会

技術委員会 都市計画業務のあり方検討部会

【報告内容】

■調査の目的と概要

1. 調査の目的
2. 調査概要
3. 調査項目
4. 調査の見直し内容

■集計・分析の結果

1. 全体の傾向
 - (1) 推薦事例の件数
 - (2) 推薦事例の内訳
 - (3) 募集要項の主要項目別に見た推薦事例
2. 発注方式の傾向
 - (1) 推薦事例別の発注方式
 - (2) 推薦事例の発注方式別の内訳
3. 応募方式の傾向
 - (1) 推薦事例別の応募方式
 - (2) 推薦事例の応募方式別の内訳
4. 発注者別の傾向
 - (1) 推薦事例別の発注者
 - (2) 推薦事例の発注者別の内訳
5. 受注金額の傾向
 - (1) 推薦事例別の受注金額
 - (2) 推薦事例の受注金額別の内訳

■配布・集計資料

1. 都市計画業務の発注方式に関する事例調査シート
2. アンケート全回答（個別データ一覧）

■調査の目的と概要

1. 調査の目的

プロポーザル・総合評価方式による望ましい都市計画業務の発注方式の普及に向けて、都市計画コンサルタントから見た優良な発注事例等の募集要項や仕様書を収集・整理し、業務内容に相応しい募集・評価方法の選定や適確な仕様書の作成等に役立つ詳細な事例情報を、地方公共団体に向けて発信・提供することを目的とする。

2. 調査概要

[調査方法] 都市計画コンサルタント協会の会員企業99社（正会員）を対象としてアンケート票等をメールにより送付・回収した。

[調査内容] 1) プロポーザル方式又は総合評価方式の都市計画業務から、①～③にいずれかに該当する発注事例を選び、推薦理由等をアンケート票（別紙「事例調査シート」参照）に記入

- ① 募集内容（発注方式や仕様書）が望ましい優良事例
- ② 募集内容（発注方式や仕様書）が特徴的で参考となる発注事例
- ③ 改善してほしいと感じた発注事例

2) 上記事例で発注者から配布された募集資料（募集要項や説明書、仕様書など）を提供

[調査時期] アンケート依頼 平成29年 10月31日
アンケート締切 平成30年 1月19日

[収集事例] 会員企業17社から計27事例が推薦された。
（詳しくは個別データ一覧参照）

3. 調査項目

以下の項目について設問を設け、回答を募った。

- ・発注方式
- ・応募方式
- ・発注者（発注機関名、部署名） ※任意回答
- ・業務名または分野 ※任意回答
- ・実施年度
- ・受注金額
- ・推薦理由

使用したアンケートシートを次頁より示す。

H29 年度 都市計画業務の発注方式に関する事例調査シート

回答は何事例でも結構ですので、事例調査シートをコピーして「1事例を1枚(裏表)」でお使い下さい。

アンケート締切：平成30年1月19日(金)

回答者ご芳名		電話		e-mail	
社名/所属				役職	

以下に回答をお願いいたします。

1.発注方式	<input type="checkbox"/> 総合評価方式 <input type="checkbox"/> プロポーザル方式 ※一般競争入札方式は対象にしています
2.応募方式	<input type="checkbox"/> 公募型 <input type="checkbox"/> 指名型
3.発注者 ※可能なら記入 (発注機関名、部署名)	
4.業務名 ※可能なら記入 または分野	
5.実施年度	平成 年度 (~ 平成 年度 ※複数年度契約の場合に記入)
6.受注金額	<input type="checkbox"/> 500万円未満 <input type="checkbox"/> 500~1000万円 <input type="checkbox"/> 1000万円以上
7.推薦理由	<p>今回ご紹介頂ける事例について、次の3つの中から種類を選択して下さい。</p> <input type="checkbox"/> ①望ましい事例 8.1.へお進みください <input type="checkbox"/> ②特徴的で参考となる事例 8.2.へお進みください <input type="checkbox"/> ③改善して欲しいと感じた事例 8.3.へお進みください

8. 回答欄

<p>8.1. 「①望ましい事例」 を選択した方 (②③を選択した方は 裏面をごらん下さい)</p>	<p>以下の①の内容例の中から、該当するものに○印を記して下さい。(複数選択可) 「その他」の欄に追加説明、その他の理由がございましたら記入して下さい。</p> <p> <input type="checkbox"/> 業務内容に相応しい参加資格が定められている事例 <input type="checkbox"/> 仕様書として目的、作業内容、成果品が明瞭に示されている事例 <input type="checkbox"/> 特定テーマの内容が業務内容に相応しい事例 <input type="checkbox"/> 特定テーマの数が業務規模・金額に比べて妥当な事例 <input type="checkbox"/> 評価項目や評価基準が客観的で分かりやすい事例 <input type="checkbox"/> 技術点を重視し、業務実績や価格の評価点を低くしている事例 <input type="checkbox"/> 評価の結果が適切に公表される事例 <input type="checkbox"/> 提案内容に応じて契約額の増額を認めている事例 </p> <p style="text-align: center;">その他の理由、または上記の追加説明等</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 80%; margin: 10px auto; height: 100px;"></div> <p style="text-align: right;">次項の「9. その他、自由記入欄」にお進み下さい。</p>
---	---

<p>8.2. 「②特徴的で参考となる事例」を選択した方</p>	<p>以下の②の内容例の中から、該当するものに○印を記して下さい。(複数選択可) 「その他」の欄に追加説明、その他の理由がございましたら記入して下さい。</p> <p>() J Vや共同提案が可能な事例 () 複数年継続の可能性が明記されて発注された事例 () 一連の関連業務をパッケージ化した事例 () 提案内容が受注後に仕様書に反映される事例 () 参加者にある程度の作成費が支払われる事例 () 会社規模や実績等は問わず、提案内容によって選定する事例 () プロポーザルの参加者(2～3社等)によるJ Vとして採用する事例 () 総合評価方式で、予定価格(又は人工数)が示されている事例 () 低入札防止のため、技術提案内容を重視している事例</p> <p>() その他の理由、または上記の追加説明等</p>
<p>8.3. 「③改善して欲しいと感じた事例」を選択した方</p>	<p>以下の③の内容例の中から、該当するものに○印を記して下さい。(複数選択可) 「その他」の欄に追加説明、その他の理由がございましたら記入して下さい。</p> <p>() 提案書提出までの時間が短い事例 () 情報がない、少ない事例(その自治体で実績のある会社や関わった会社しか分からないような提案を求める、など) () 会社規模や業務実績が過大に評価され大規模会社に有利な事例 () 資格要件が細かい・厳しい事例(技術士部門の専門分野を指定、実績の地域が限定されている、実績の数が多く求められる、など) () 業務内容と金額が見合わない事例 () 業務内容と特定テーマの関連性が少ない事例 () 業務金額と特定テーマ数、作成枚数が見合わない事例 () 仕様書がわかりにくく曖昧な事例 () 総合評価で、大幅な低入札で受注会社が特定された事例 () (実質的に低価格競争となっている事例) () 評価基準が公表されない事例 () 審査結果が公表されない事例</p> <p>() その他の理由、または上記の追加説明等</p>
<p>9.その他、自由記入欄</p>	

ご協力有り難うございました。

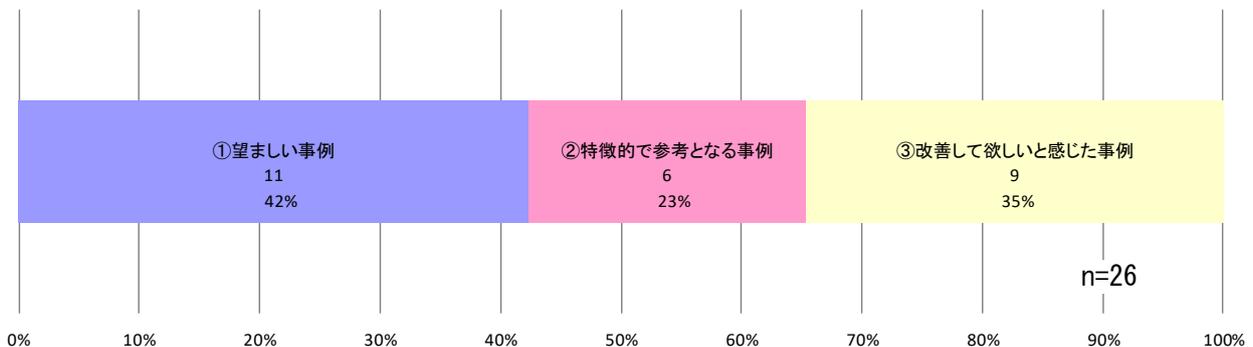
■集計・分析の結果

1. 全体の傾向

(1) 推薦事例の件数

- ・①望ましい事例は 26 件のうち 11 件で 42%となっている。
- ・②特徴的で参考となる事例は 6 件で 23%となっている。
- ・③改善して欲しいと感じた事例は 9 件で 35%となっている。

1. 推薦事例



※27 件中 1 件は推薦理由が未回答

(2) 推薦理由の内訳

【①望ましい事例】

- ・望ましい事例 11 件のうち、「業務内容に相応しい参加資格が定められている」という推薦理由が 8 件で最も多い。
- ・次いで「評価項目や評価基準が客観的で分かりやすい」が 6 件、「仕様書として目的、作業内容、成果品が明瞭に示されている」、「特定テーマの内容が業務内容に相応しい」がそれぞれ 5 件となっている。
- ・その他の推薦理由として「技術提案の配点比率が高い」、「同種・類似業務が詳細に記載」、「評価の視点に詳細な記載がある」、「特定テーマの意図がわかりやすい」、「提出種類の量が適切」等の具体的な理由もあがっている。

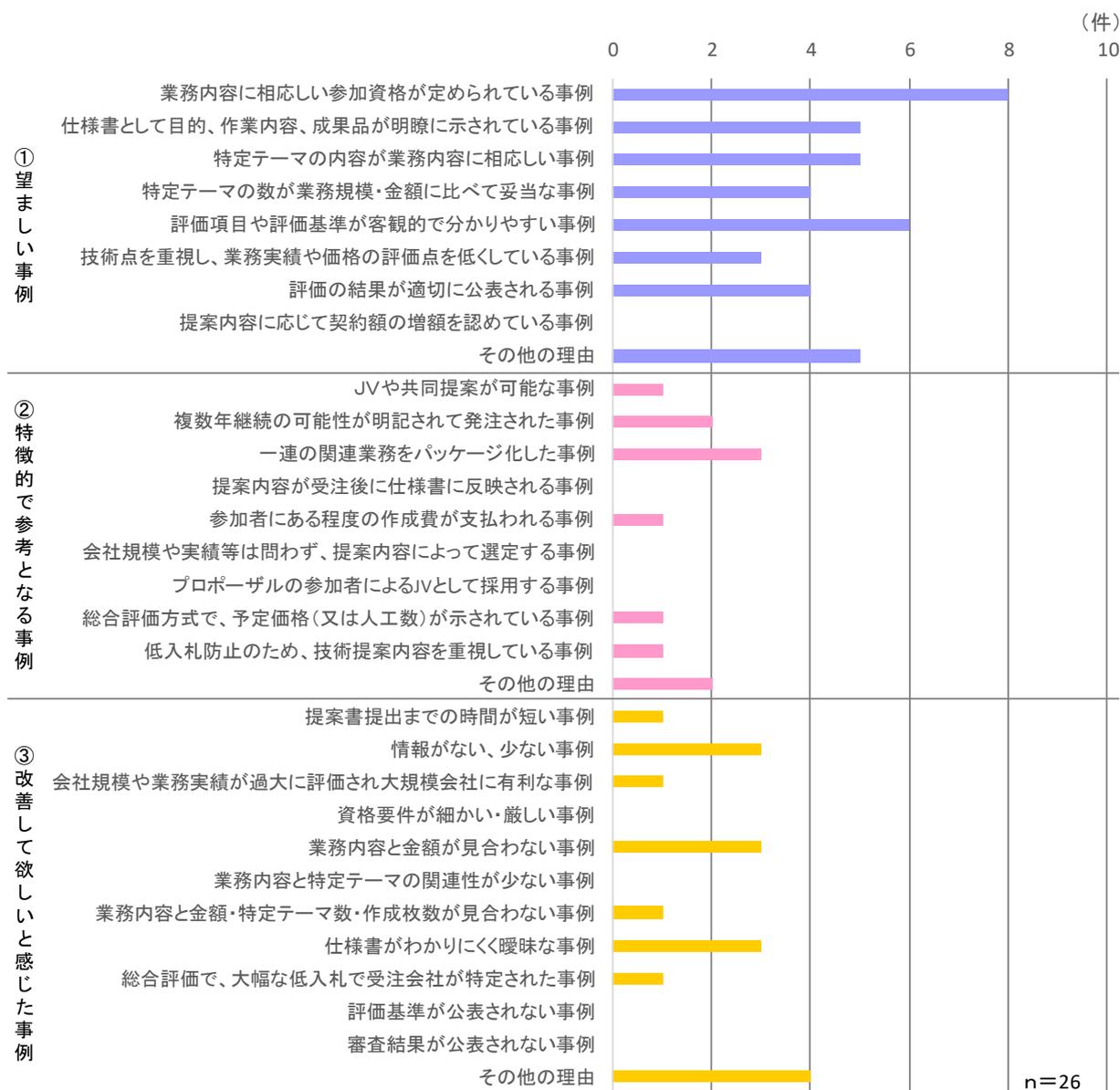
【②特徴的で参考となる事例】

- ・特徴的で参考となる事例 6 件のうち、「一連の関連業務をパッケージ化している」という推薦理由が 3 件で最も多く、次いで「複数年継続の可能性が明記されている」が 2 件となっている。
- ・その他の推薦理由として「総合評価方式のリバースオークションで実施」、「都市マスタープランと立地適正化計画がパッケージ化されている」等の具体的な理由もあがっている。

【③改善して欲しいと感じた事例】

- ・改善して欲しいと感じた事例 9 件のうち、「情報がない、少ない」、「業務内容と金額が見合わない」、「仕様書がわかりにくく曖昧」という推薦理由がそれぞれ 3 件で最も多い。
- ・その他の推薦理由として「プロポでありながら価格重視」、「ヒアリングのスケジュールがタイト」、「公募でありながら事務所の位置に市内要件があった」等、具体的な理由もあがっている。

2. 各推薦理由の内訳



<p>①望ましい事例のその他の推薦理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最重要事項である特定テーマに関する技術提案の配点比率が高い ・技術者の資格、実績の配点バランスもよく配慮されている印象 ・オーソドックスなプロポーザル実施要領であり、要求記述枚数や業務金額に無理がない。 ・同種業務・類似業務が詳細に記載されている ・特定テーマは業務推進のキーワードとなっており技術的提案が客観的に評価されやすい ・実施方針・実施フロー・工程表の評価点に評価の視点として詳細な記載がある ・シンプルにまとめられたテンプレ的な事例(市町村等)です。 ・特定テーマの意図が分かりやすい。 ・段階ごとの適度なスケジュール設定(参加申込段階、提案書提出段階、プレゼンテーション段階) ・提案書等、提出書類の適切な量 <p>②特徴的で参考となる事例のその他の推薦理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価方式のリバースオークションで実施され、価格の競争性が小さい事例 ・都市計画マスタープラン(1年目)と立地適正化計画(1年目)の検討がパッケージ化されている業務(ただし2年目以降の取扱いについて、要綱に一切記載なし) <p>③改善して欲しいと感じた事例のその他の推薦理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案書の最高得点者と、その近傍5%以内の事業者が見積合せ(2次選考)の対象とされ、結局は価格競争となる。(5%以内の事業者の有無は公表されないため、提案書が圧倒的に優れていても反映されない) ・2カ年目の随意契約の際は、1年目の落札率を乗じた価格とされ、プロポでありながら価格が相当重視されている。 ・ヒアリングのスケジュールがタイトであった ・請求すれば審査結果は開示されたと思われるが、特定された社とあまりにも点数の差があり、審査方法に不信感を覚えた(開示請求する気が失せた) ・公募であるものの、事務所の位置の市内要件があったこと ・上記の「○」は想像です。会社の規模や経営状況に関する添付資料が多すぎます。 ・ここまで添付させるなら、これに係わる評価の有無、評価基準等を明記していただきたいです。 ・調査対象地区(駅)が特定されておらず、提案事項のポイントが絞りにくい

(3) 募集要項の主要項目別に見た推薦事例

- 募集要項の項目別に見ると、事例数が最も多かったのは **G 評価方法** で 16 件となっている。プラス理由としては「評価項目や評価基準が客観的で分かりやすい」が 6 件、「技術点を重視し、業務実績や価格の評価点を低くしている」が 3 件、「低入札防止のため、技術提案内容を重視している」が 1 件あげられている。マイナス理由は、「会社規模や業務実績が過大に評価されている」が 1 件、「その他」が 2 件あげられている。総じてこの項目に推薦されている事例はプラス理由のものが多い。
- 次いで **D 提案内容** が 15 件となっている。プラス理由としては「特定テーマの内容が業務内容に相応しい」が 5 件、「その他」が 2 件あげられている。マイナス理由は「業務内容と金額が見合わない」が 3 件、「仕様書がわかりにくく曖昧」が 3 件、「業務内容と金額・特定テーマ数・作成枚数が見合わない」が 1 件、「その他」が 1 件あげられている。この項目ではプラス理由とマイナス理由がほぼ同数であった。
- A 参加資格** は 13 件であった。プラス理由は「業務内容に相応しい参加資格が定められている」が 8 件、「JV や共同提案が可能」が 1 件、「その他」が 2 件あげられている。一方でマイナス理由は「その他」が 2 件あげられている。
- C 仕様書** は 12 件であった。プラス理由は「仕様書として目的、作業内容、成果品が明瞭に示されている」が 5 件、「一連の関連業務をパッケージ化している」が 3 件、「その他」が 2 件あげられている。マイナス理由は「業務内容と金額・特定テーマ数・作成枚数が見合わない」が 1 件、「その他」が 1 件あげられている。
- E 期間・枚数** は 11 件であった。プラス理由は「特定テーマの数が業務規模・金額に比べて妥当」が 4 件、「その他」が 4 件あげられている。マイナス理由は「提案書提出までの時間が短い」が 1 件、「業務内容と金額・特定テーマ数・作成枚数が見合わない」が 1 件、「その他」が 1 件あげられている。
- I 価格** も 11 件であった。プラス理由は「参加者にある程度の作成費が支払われる」が 1 件、「総合評価方式で、予定価格（又は人工数）が示されている」が 1 件、「その他」が 2 件あげられている。マイナス理由は「業務内容と金額が見合わない」が 3 件、「業務内容と金額・特定テーマ数・作成枚数が見合わない」が 1 件、「総合評価で、大幅な低入札で受注会社が特定」が 1 件、「その他」が 2 件あげられている。
- H 結果公表** は 4 件で、プラス理由として「評価の結果が適切に公表される」が 4 件あげられている。
- J 契約** も 4 件で、プラス理由として「複数年継続の可能性が明記されて発注された」が 2 件、「その他」が 1 件あげられている。マイナス理由は「その他」が 1 件あげられている。
- マイナス理由のみの **B 参考情報** は「情報が無い、少ない」が 3 件あげられている。
- F ヒヤリング** は、プラス理由とマイナス理由とも「その他」が 1 件ずつあげられている。

3. 募集要項の主要項目別に見た推薦事例

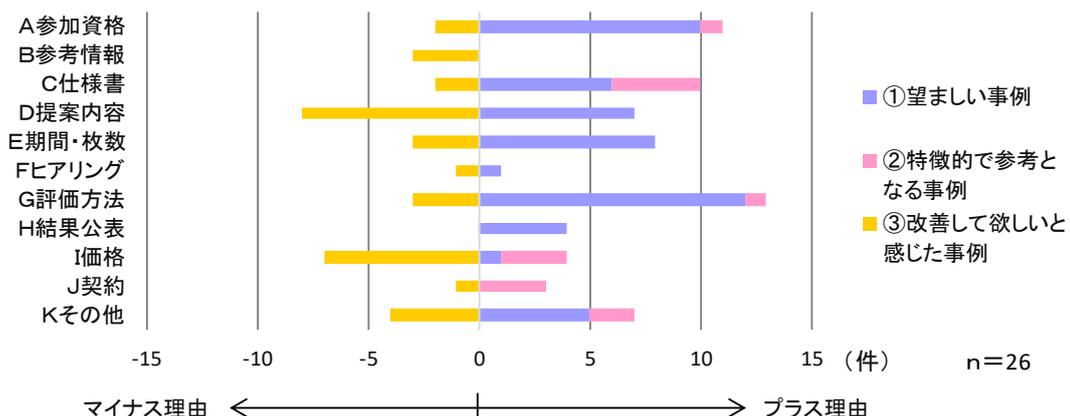


表 1 推薦理由から見た募集要項などの項目別分類

理由の種類	募集要項などの構成項目 理由	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
		参加資格	参考情報	仕様書	提案内容	期間・枚数	ヒヤリング	評価方法	結果公表	価格	契約	その他
①望ましい事例	1. 業務内容に相応しい参加資格が定められている事例	8										
	2. 仕様書として目的、作業内容、成果品が明瞭に示されている事例			5								
	3. 特定テーマの内容が業務内容に相応しい事例				5							
	4. 特定テーマの数が業務規模・金額に比べて妥当な事例					4						
	5. 評価項目や評価基準が客観的で分かりやすい事例							6				
	6. 技術点を重視し、業務実績や価格の評価点を低くしている事例							3				
	7. 評価の結果が適切に公表される事例								4			
	8. 提案内容に応じて契約額の増額を認めている事例											
	9. その他の理由 ・最重要事項である特定テーマに関する技術提案の配点比率が高い ・技術者の資格、実績の配点バランスもよく配慮されている印象 ・要求記述枚数や業務金額に無理がない ・同種業務・類似業務が詳細に記載されている ・技術的提案が客観的に評価されやすい ・実施方針・実施フロー・工程表の評価点に評価の視点として詳細な記載あり ・シンプルにまとめられたテンプレ的な事例（市町村等）です ・特定テーマの意図が分かりやすい ・参加申込、提案書提出、プレゼンテーション段階の適度なスケジュール設定 ・提案書等、提出書類の適切な量	1 1				1 1		1 1		1		5
	小計	10	0	6	7	8	1	12	4	1	0	5
②特徴的で参考となる事例	1. JVや共同提案が可能な事例	1										
	2. 複数年継続の可能性が明記されて発注された事例										2	
	3. 一連の関連業務をパッケージ化した事例			3								
	4. 提案内容が受注後に仕様書に反映される事例											
	5. 参加者にある程度の作成費が支払われる事例									1		
	6. 会社規模や実績等は問わず、提案内容によって選定する事例											
	7. プロポーザルの参加者によるJVとして採用する事例											
	8. 総合評価方式で、予定価格（又は人工数）が示されている事例										1	
	9. 低入札防止のため、技術提案内容を重視している事例							1				
	10. その他の理由 ・総合評価方式のリバースオークションで実施され、価格の競争性が小さい ・都市マスと立地適正化のパッケージ化だが、2年目以降は記載なし			1							1	1
小計	1	0	4	0	0	0	1	0	3	3	2	
③改善して欲しいと感じた事例	1. 提案書提出までの時間が短い事例					1						
	2. 情報が少ない、少ない事例		3									
	3. 会社規模や業務実績が過大に評価され大規模会社に有利な事例							1				
	4. 資格要件が細かい・厳しい事例											
	5. 業務内容と金額が見合わない事例				3					3		
	6. 業務内容と特定テーマの関連性が少ない事例											
	7. 業務内容と金額・特定テーマ数・作成枚数が見合わない事例			1	1	1				1		
	8. 仕様書がわかりにくく曖昧な事例				3							
	9. 総合評価で、大幅な低入札で受注会社が特定された事例										1	
	10. 評価基準が公表されない事例											
	11. 審査結果が公表されない事例											
	12. その他の理由 ・提案の最高得点者とその近傍5%以内の事業者が、見合わせ（2次選考）の対象とされ、結局は価格競争となる。 ・2年目の随意契約の際は、1年目の落札率を乗じた価格とされ、プロポでありながら価格が相当重視されている。 ・ヒアリングのスケジュールがタイト ・特定された社とあまりにも点数の差があり、審査方法に不信感を覚えた ・公募であるものの、事務所位置の市内要件があったこと ・会社の規模や経営状況に関する添付資料が多すぎます。 ・調査対象地区（駅）が特定できず、提案事項のポイントが絞きれない	1 1		1	1		1	1	1		1	1
小計	2	3	2	8	3	1	3	0	7	1	4	
合計	13	3	12	15	11	2	16	4	11	4	11	

2. 発注方式の傾向

(1) 推薦事例別の発注方式

【全体】

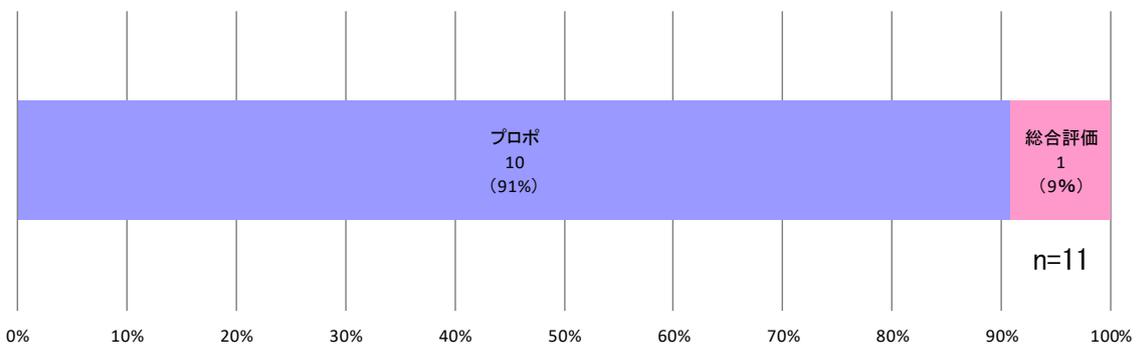
- ・ 全事例 26 件のうちプロポーザル方式は 19 件 (73%)、総合評価方式が 7 件 (27%) となっている。

【推薦事例別】

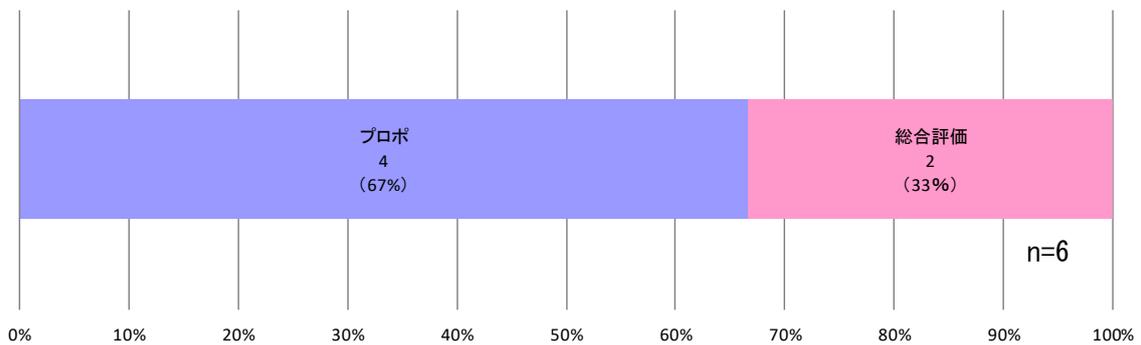
- ・ ①望ましい事例 11 件のうち 10 件 (91%) がプロポーザル方式であり、総合評価方式は 1 件 (9%) となっている。
- ・ ②特徴的で参考となる事例 6 件のうち 4 件 (67%) がプロポーザル方式であり、総合評価方式は 2 件 (33%) となっている。
- ・ ③改善して欲しいと感じた事例 9 件のうち 5 件 (56%) がプロポーザル方式であり、総合評価方式は 4 件 (44%) となっている。

4. 推薦事例別の発注方式

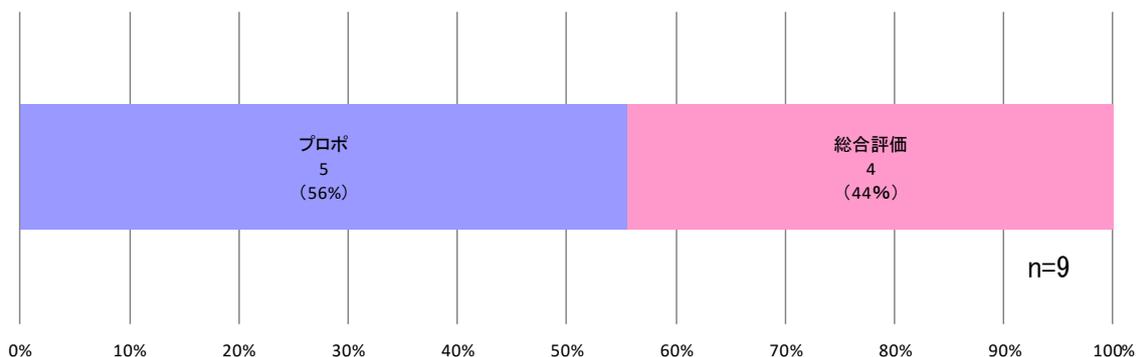
① 望ましい事例



② 特徴で参考となる事例



③ 改善して欲しいと感じる事例



(2) 推薦事例の発注方式別の内訳

【①望ましい事例】

- ・プロポーザル方式の事例の推薦理由は、「業務内容に相応しい参加資格が定められている」が7件と最も多く、次いで「評価項目や評価基準が客観的で分かりやすい」が6件と続いている。
- ・総合評価方式の事例の推薦理由は、「業務内容に相応しい参加資格が定められている」「特定テーマの数が業務規模・金額に比べて妥当」「評価の結果が適切に公表される」が1件ずつあがっている。

【②特徴的で参考となる事例】

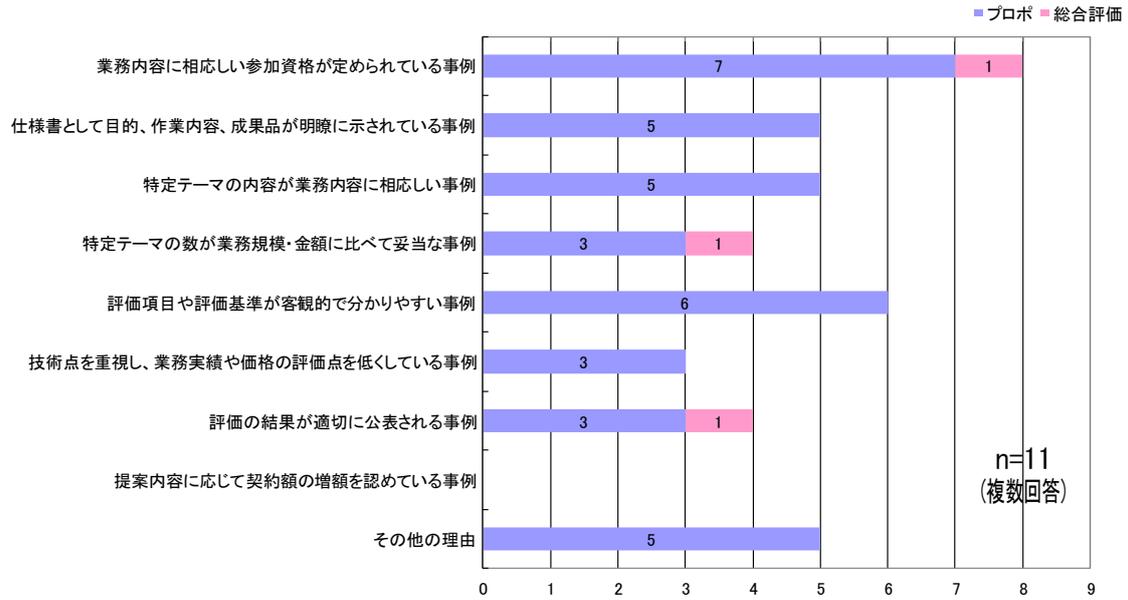
- ・プロポーザル方式の事例の推薦理由は、「複数年継続の可能性が明記されて発注されている」、「一連の関連業務をパッケージ化している」が2件ずつあがっている。
- ・総合評価方式の事例については、「一連の関連業務をパッケージ化している」、「総合評価方式で、予定価格（又は人工数）が示されている」が1件ずつあがっている。

【③改善して欲しいと感じた事例】

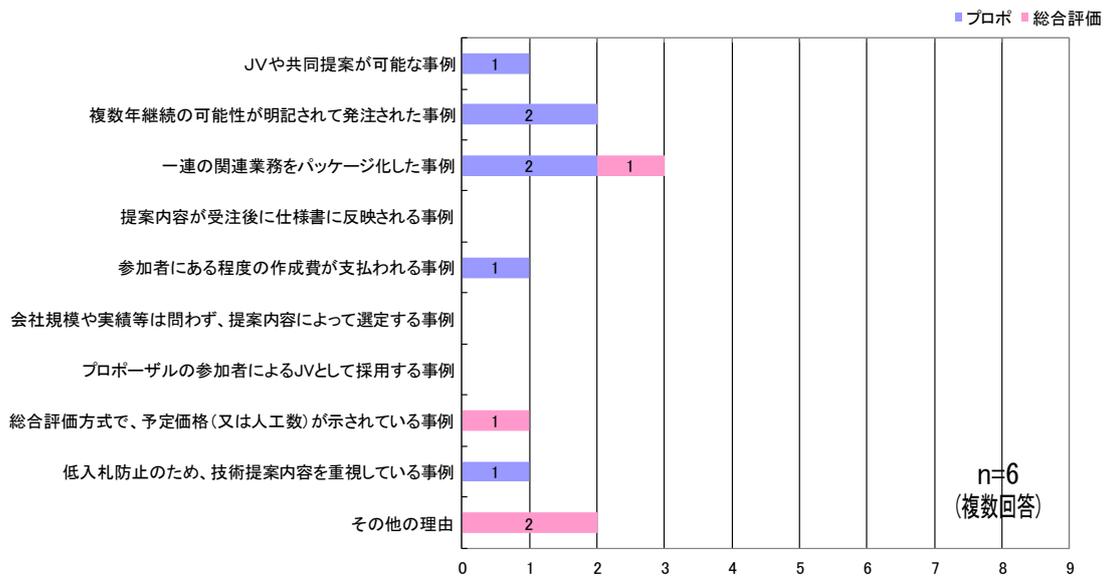
- ・プロポーザル方式の事例の推薦理由は、「業務内容と金額が見合わない」と「仕様書がわかりにくく曖昧」が2件ずつあがっている。
- ・総合評価方式の事例の推薦理由は、「情報が無い、少ない」が3件と最も多い。

5. 発注方式別に見た推薦理由

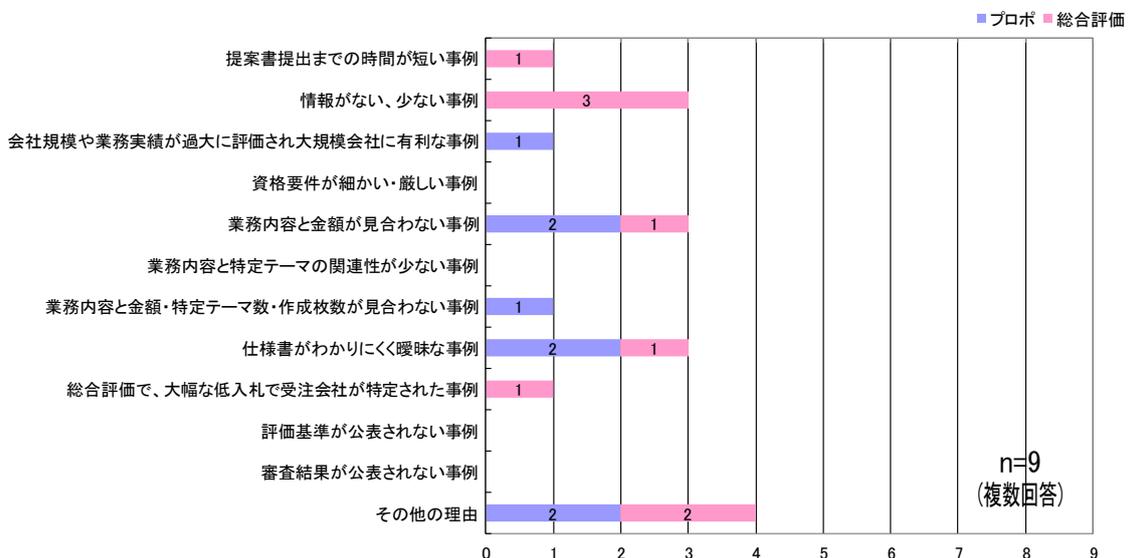
①望ましい事例



②特徴的で参考となる事例



③改善して欲しいと感じた事例



3. 応募方式の傾向

(1) 推薦事例別の応募方式

【全体】

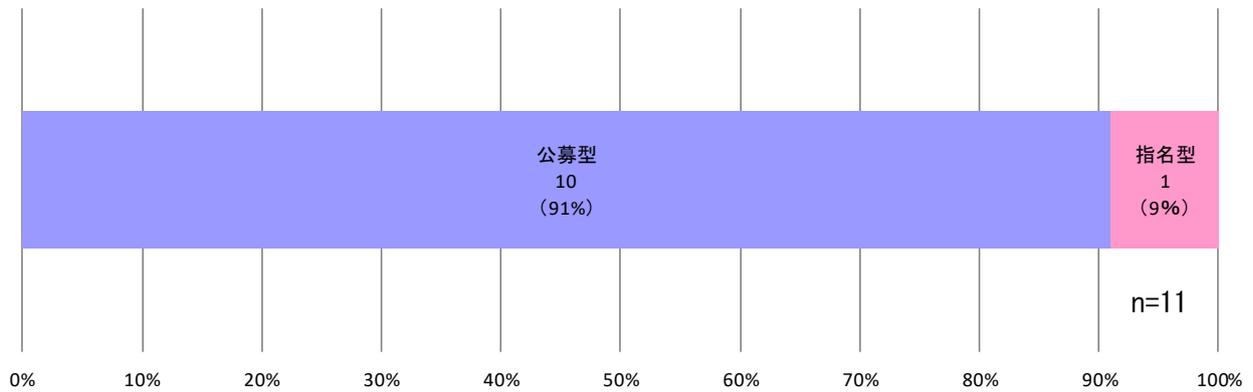
- ・全事例 26 件のうち公募型が 23 件(88%)、指名型が 3 件(12%)となっている。

【推薦事例別】

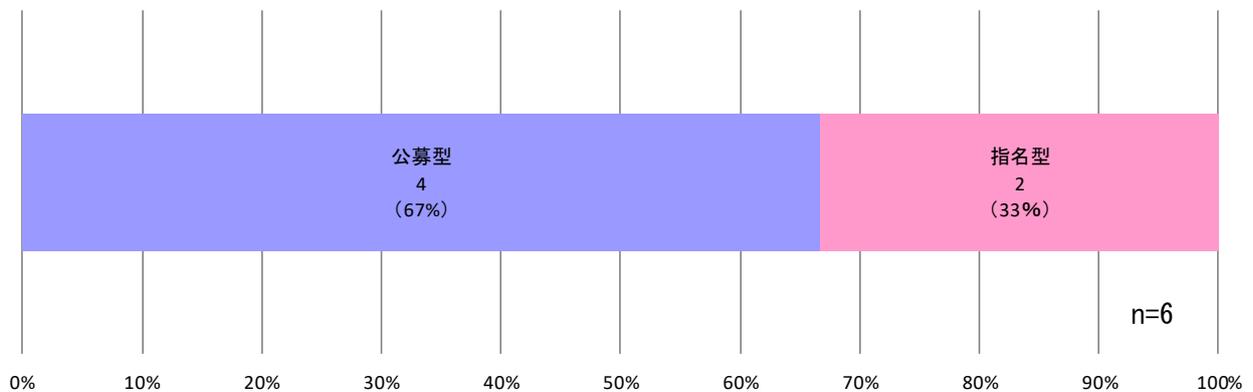
- ・①望ましい事例 11 件のうち 10 件(91%)が公募型、1 件(9%)が指名型となっている。
- ・②特徴的で参考となる事例 6 件のうち 4 件(67%)が公募型、2 件(33%)が指名型となっている。
- ・③改善して欲しいと感じた事例 9 件のうち全てが公募型となっている。

6. 推薦事例別の応募方式

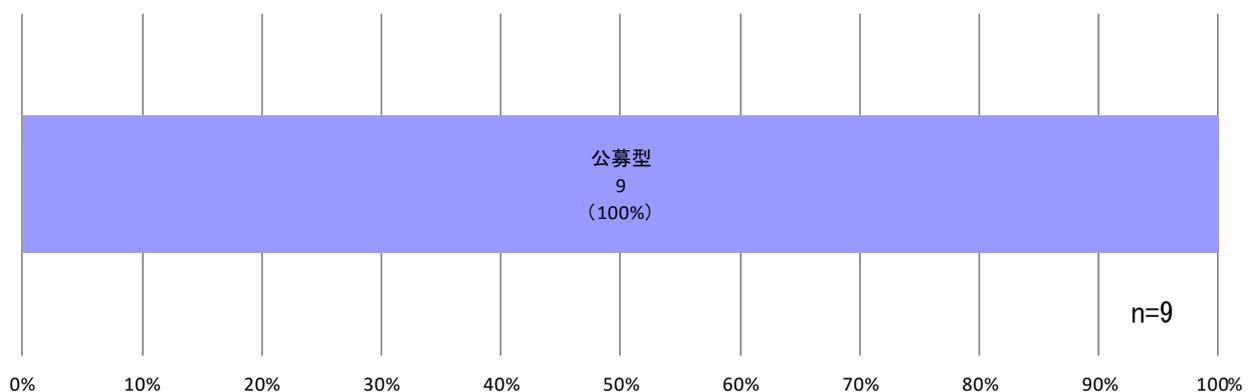
①望ましい事例



②特徴的で参考となる事例



③改善して欲しいと感じた事例



(2) 推薦事例の応募方式別の内訳

【①望ましい事例】

- ・公募型の事例の推薦理由は、「業務内容に相応しい参加資格が定められている」が7件と最も多く、次いで「評価項目や評価基準が客観的で分かりやすい」が6件と続いている。
- ・指名型の事例の推薦理由は、「業務内容に相応しい参加資格が定められている」、「仕様書として目的、内容、成果品が明確に示されている」がそれぞれ1件と続いている。

【②特徴的で参考となる事例】

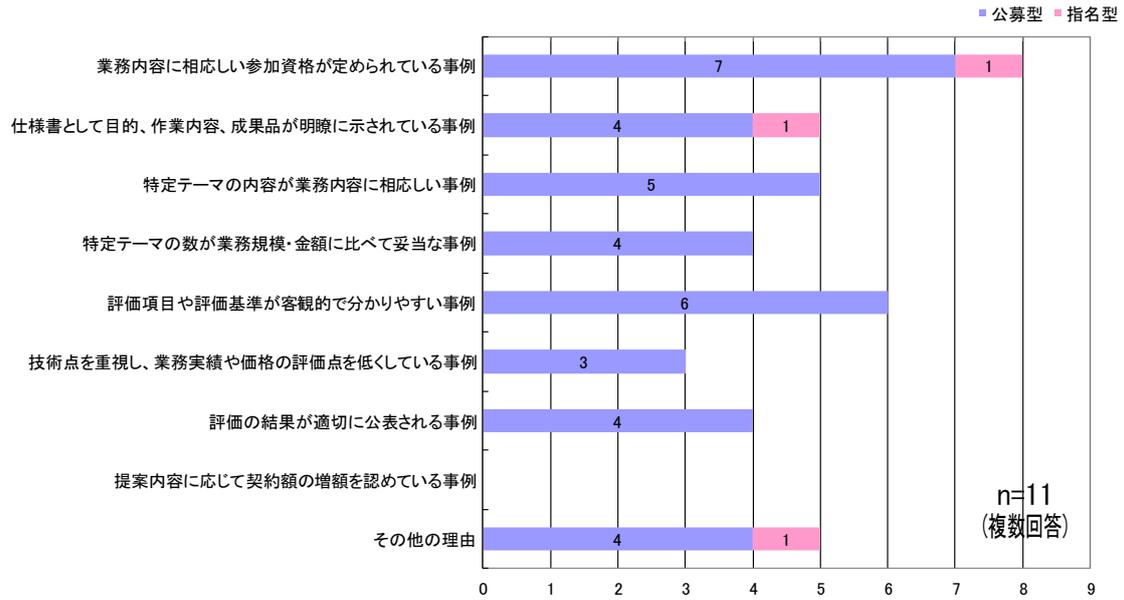
- ・公募型の事例の推薦理由は、「複数年継続の可能性が明記されて発注されている」、「一連の業務をパッケージ化している」が2件ずつとなっている。
- ・指名型の事例の推薦理由は、「JVや共同提案が可能である」、「一連の関連業務をパッケージ化している」、「参加者にある程度の作成費が支払われる」がそれぞれ1件となっている。

【③改善して欲しいと感じた事例】

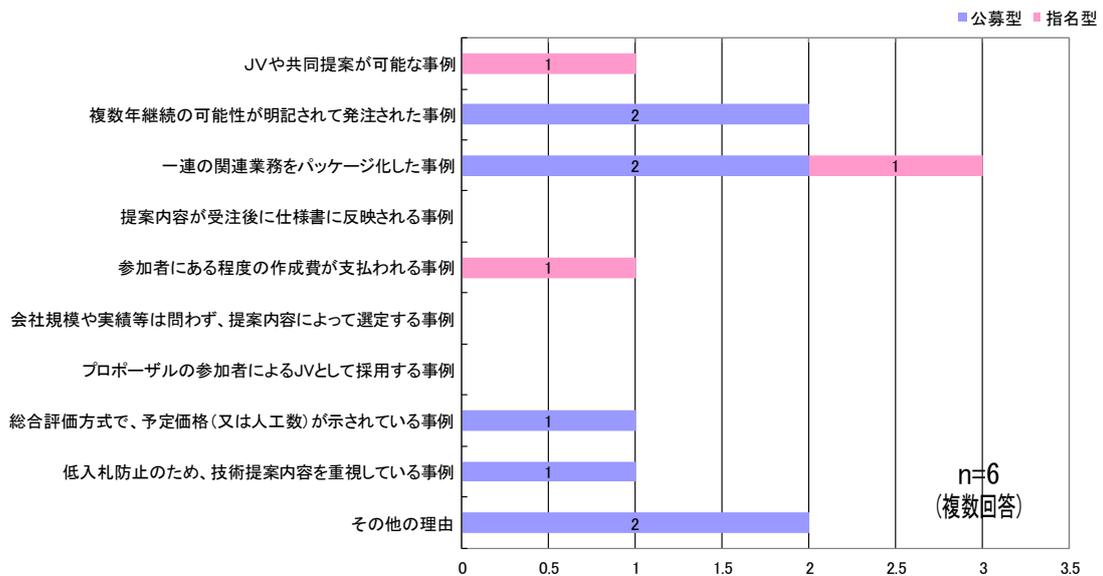
- ・公募型の事例の推薦理由は、「情報がない、少ない」、「業務内容と金額が見合わない」、「仕様書がわかりにくく曖昧」が3件と最も多く、次いで「提案書提出までの時間が短い」、「会社規模や業務実績が過大に評価され大規模会社に有利」及び「業務内容と金額、特定テーマ数・作成枚数が見合わない」、「総合評価で大幅な低入札で受注会社が特定された」がそれぞれ1件と続いている。
- ・指名型の事例については推薦がなかった。

7. 推薦事例の応募方式別の内訳

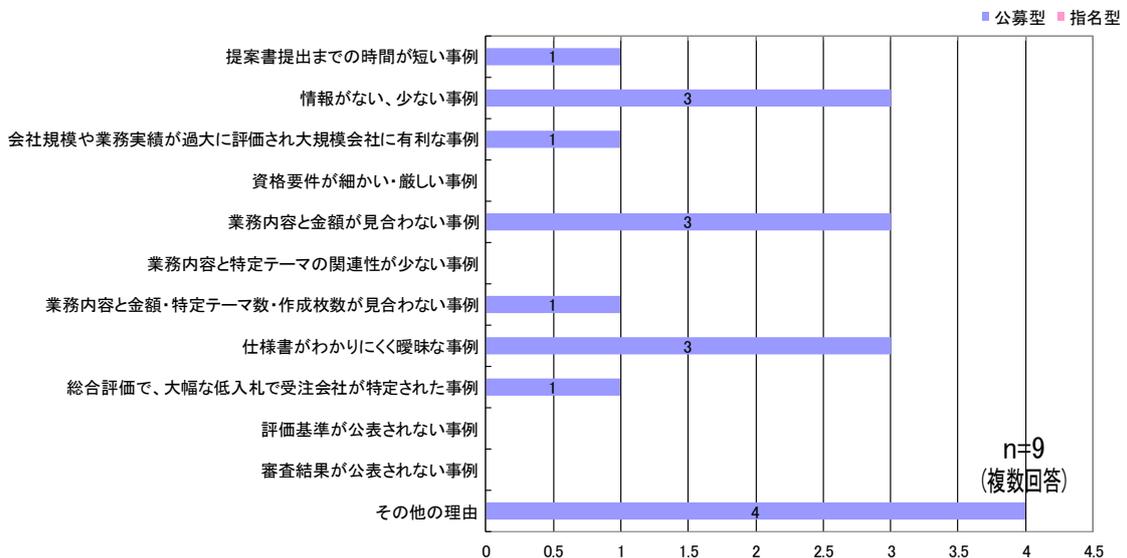
①望ましい事例



②特徴的で参考となる事例



③改善してほしいと感じた事例



4. 発注者の傾向

(1) 推薦事例別の発注者

【全体】

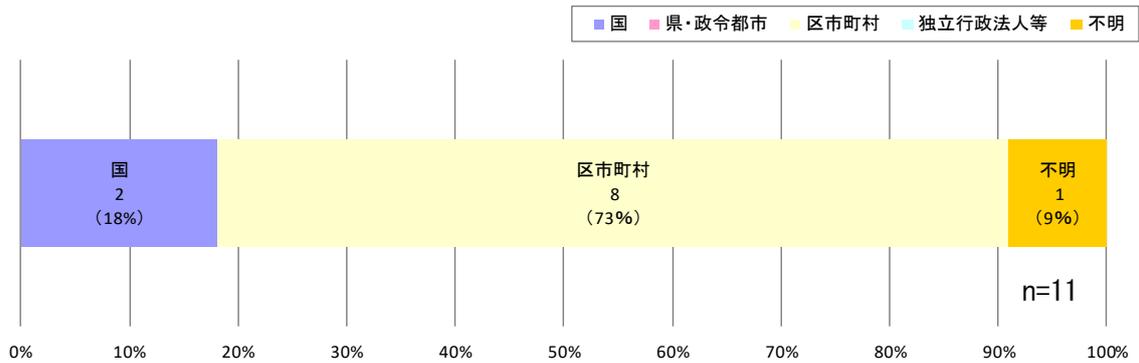
- ・全事例 26 件のうち区市町村発注の事例が 19 件(73%)を占め、最も多い。以下、国発注の事例が 2 件 (8%) となっている。(※他に発注者不明の事例が 5 件 (19%) ある)

【推薦事例別】

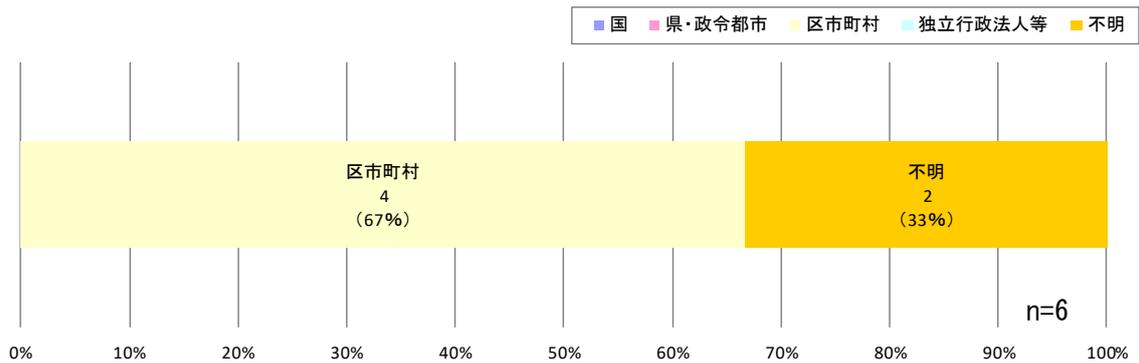
- ・①望ましい事例 11 件のうち 8 件(73%)が区市町村発注となっており、国発注の事例が 2 件 (18%)、発注者不明が 1 件 (9%) である。
- ・②特徴的で参考となる事例でも 6 件のうち 4 件 (67%) が区市町村発注で、2 件 (33%) は発注者不明である。
- ・③改善して欲しいと感じた事例 9 件のうち区市町村発注が 7 件 (78%)、発注者不明が 2 件 (22%) である。

8. 推薦事例別の発注者の内訳

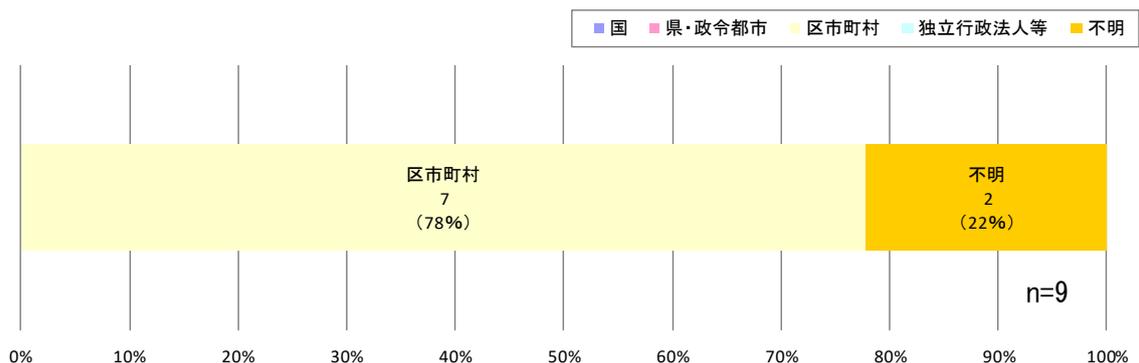
①望ましい事例



②特徴的で参考となる事例



③改善して欲しいと感じた事例



(2) 推薦事例の発注者別の内訳

【①望ましい事例】

- ・『国』が発注する事例の推薦理由は、「評価項目や評価基準が客観的で分かりやすい」が2件、「特定テーマの内容が業務内容に相応しい」、及び「評価の結果が適切に公表される」が1件ずつあげられている。
- ・『県・政令都市』が発注する事例の推薦理由は、「業務内容に相応しい参加資格が定められている」、「評価項目や評価基準が客観的で分かりやすい」がそれぞれ1件あげられている。
- ・『区市町村』が発注する事例の推薦理由は、「業務内容に相応しい参加資格が定められている」が6件、「仕様書として目的、作業内容、成果品が明瞭に示されている」が5件、「特定テーマの内容が業務内容に相応しい」が4件、「特定テーマの数が業務規模・金額に比べて妥当」、「評価項目や評価基準が客観的で分かりやすい」及び「技術点を重視し、業務実績や価格の評価点を低くしている」が3件、次いで「評価の結果が適切に公表される」が2件となっている。
- ・『独立行政法人等』が発注する事例については、回答がなかった。

【②特徴的で参考となる事例】

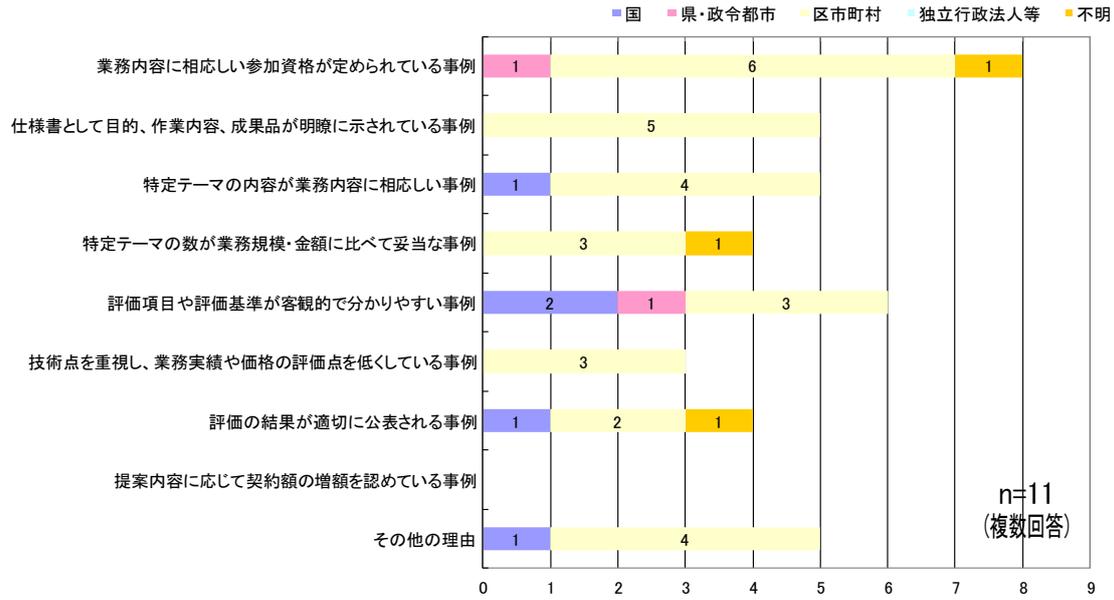
- ・『区市町村』が発注する事例の推薦理由は、「複数年継続の可能性が明記されて発注されている」、「一連の関連業務をパッケージ化している」が各2件あげられている。次いで「低入札防止のため、技術提案内容を重視している」が1件となっている。
- ・『国』、『県・政令都市』、『独立行政法人等』が発注する事例については、回答がなかった。

【③改善して欲しいと感じた事例】

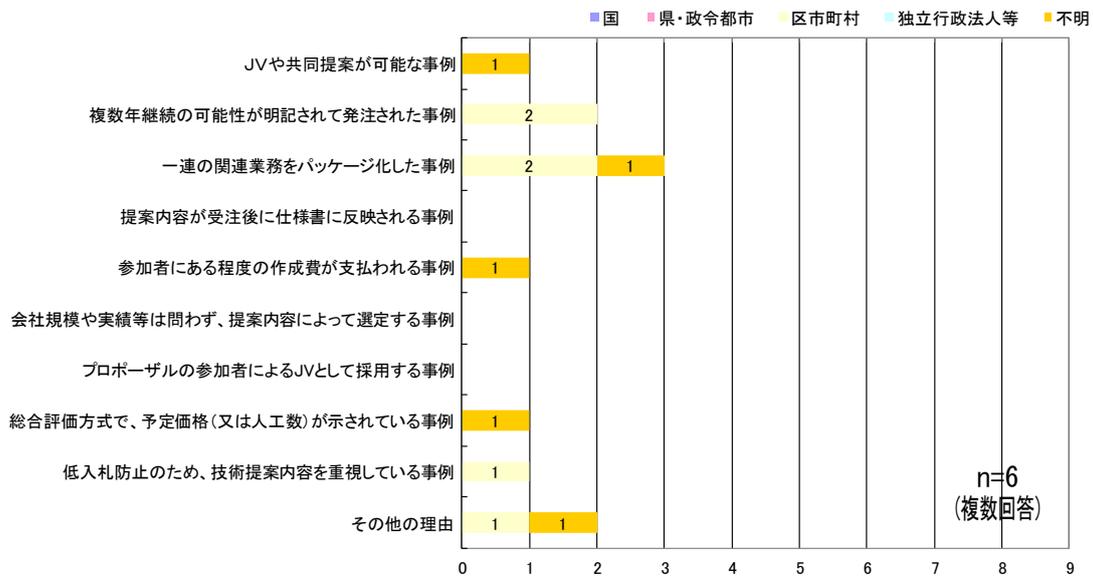
- ・『県・政令都市』が発注する事例の推薦理由は、「情報がない、少ない」「業務内容と金額が見合わない」、「仕様書がわかりにくく曖昧」がそれぞれ1件あげられている。
- ・『区市町村』が発注する事例の推薦理由は、「業務内容と金額が見合わない」が2件と最も多く、次いで「会社規模や業務実績が過大に評価され大規模会社に有利」、及び「業務内容と金額、特定テーマ数・作成枚数が見合わない」、「仕様書がわかりにくく曖昧」「総合評価で大幅な低入札で受注会社が特定された」が1件と続く。
- ・『国』、『独立行政法人等』が発注する事例については、回答がなかった。

9. 発注者別に見た推薦理由

①望ましい事例



②特徴的で参考となる事例



③改善して欲しいと感じた事例



5. 受注金額の傾向

(1) 推薦事例別の受注金額

【全体】

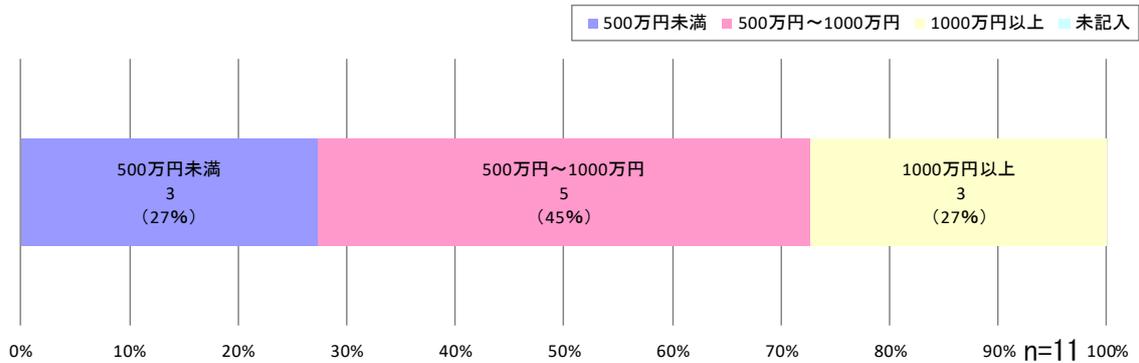
- ・全事例 26 件のうち 500 万円～1000 万円の業務が 10 件(38%)を占めており、次いで 1000 万円以上の事例が 8 件(31%)、500 万円未満の事例が 6 件(23%)となっている。(※他に未記入が 2 件ある)

【推薦事例別】

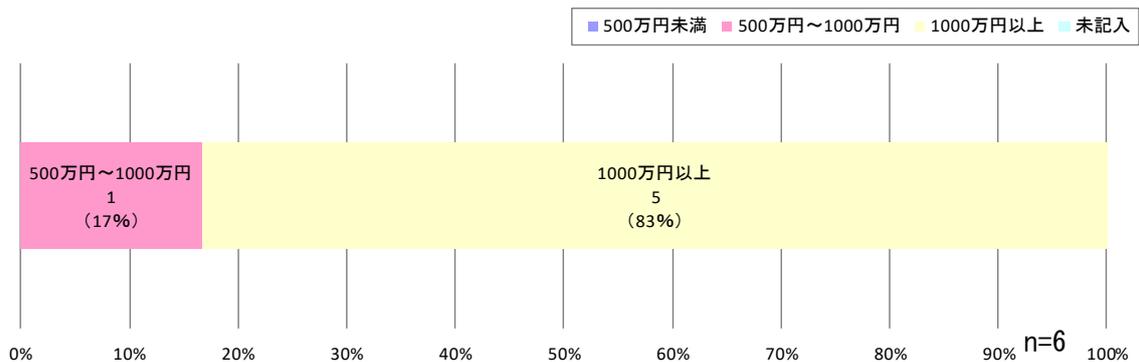
- ・①望ましい事例では、500 万円～1000 万円の事例が 5 件(45%) と一番多く、1000 万円以上の事例、500 万円未満の事例はともに 3 件 (27%)、となっている。
- ・②特徴的で参考となる事例では、1000 万円以上の事例が 5 件 (83%)、500 万円～1000 万円の事例が 1 件(17%)となっている。
- ・③改善して欲しいと感じた事例では、500 万円～1000 万円の事例が 4 件(44%)、500 万円未満の事例が 3 件(33%)となっている。

10. 推薦事例別の受注金額

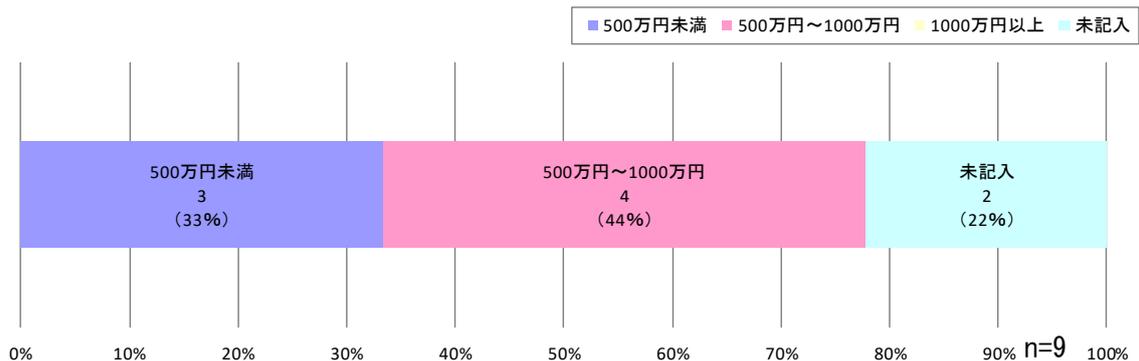
①望ましい事例



②特徴的で参考となる事例



③改善して欲しいと感じた事例



(2) 推薦事例の受注金額別の内訳

【①望ましい事例】

- ・ 500 万円未満の事例の推薦理由は、「業務内容に相応しい参加資格が定められている」が 2 件あげられており、「仕様書として目的、作業内容、成果品が明瞭に示されている」、「特定テーマの数が業務規模・金額に比べて妥当」、「評価項目や評価基準が客観的で分かりやすい」、「評価の結果が適切に公表される」はそれぞれ 1 件となっている。
- ・ 500 万円～1000 万円の事例の推薦理由は、「業務内容に相応しい参加資格が定められている」が 3 件あげられており、「仕様書として目的、作業内容、成果品が明瞭に示されている」、「特定テーマの内容が業務内容に相応しい」、「評価項目や評価基準が客観的で分かりやすい」、「評価の結果が適切に公表される」がそれぞれ 2 件ずつあげられている。「特定テーマの数が業務規模・金額に比べて妥当」、「技術点を重視し、業務実績や価格の評価点を低くしている」はそれぞれ 1 件となっている。
- ・ 1000 万円以上の事例の推薦理由は、「業務内容に相応しい参加資格が定められている」、「特定テーマの内容が業務内容に相応しい」、「評価項目や評価基準が客観的で分かりやすい」が 3 件と最も多く、次いで、「仕様書として目的、作業内容、成果品が明瞭に示されている」、「特定テーマの数が業務規模・金額に比べて妥当」、「技術点を重視し、業務実績や価格の評価点を低くしている」がそれぞれ 2 件あげられており、続いて、「評価の結果が適切に公表される」が 1 件となっている。

【②特徴的で参考となる事例】

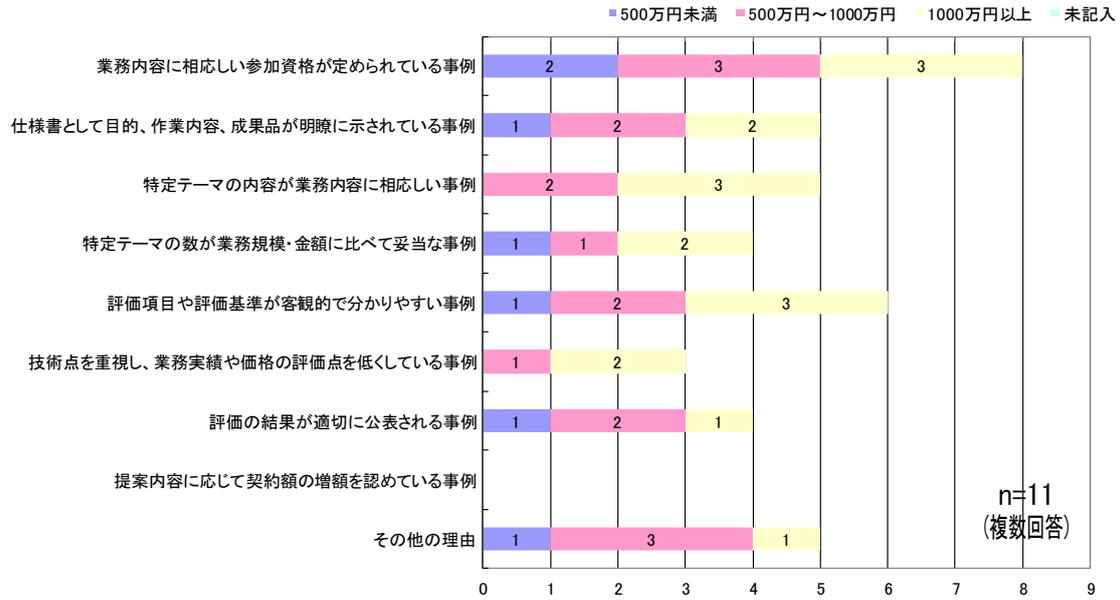
- ・ 500 万円～1000 万円の事例の推薦理由は、「総合評価で、大幅な低入札で受注会社が特定された」、が 1 件あげられている。
- ・ 1000 万円以上の事例の推薦理由は、「一連の業務をパッケージ化している」が 3 件と最も多く、次いで「複数年継続の可能性が明記されて発注されている」が 2 件、「JV や共同提案が可能な」、「参加者にある程度の作成費が支払われる」、「低入札防止のため、技術提案内容を重視している」がそれぞれ 1 件あげられている。
- ・ 500 万円未満の事例の推薦はなかった。

【③改善して欲しいと感じた事例】

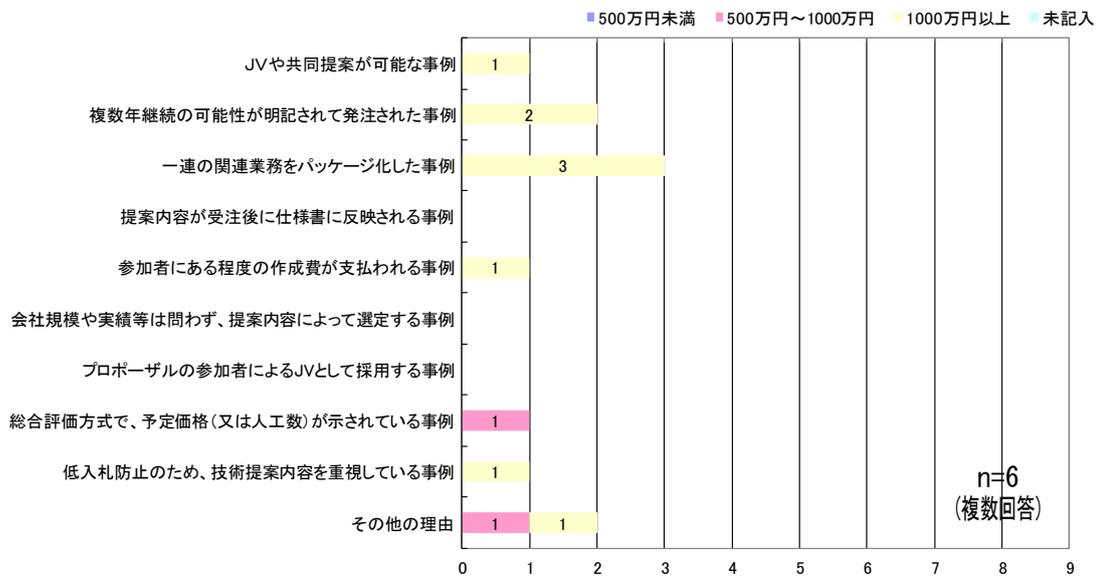
- ・ 500 万円未満の事例の推薦理由は、「情報がない、少ない」、「業務内容と金額が見合わない」、「仕様書がわかりにくく曖昧」が 2 件、次いで「提案書提出までの時間が短い」、「業務内容と金額・特定テーマ数・作成枚数が見合わない」、がそれぞれ 1 件あげられている。
- ・ 500 万円～1000 万円の事例の推薦理由は、「会社規模や業務実績が過大に評価され大規模会社に有利」、「業務内容と金額が見合わない」、「仕様書がわかりにくく曖昧」がそれぞれ 1 件あげられている。
- ・ 1000 万円以上の事例の推薦はなかった。

11. 受注金額別に見た推薦理由

①望ましい事例



②特徴的で参考となる事例



③改善して欲しいと感じた事例

